

授業科目 英語 II

【担当教員名】 山田 栄	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎		○

【一般目標：G10】
 英語のテキストを読むだけでなく、様々な言語活動を通じて基礎的英語力を多角的に補強し、実践的なコミュニケーション能力を育成する。テキストは健康に関する話題を取り扱う。様々な演習や言語活動を通して、情報を読み取る読解力、基本的な語彙の習得、話す・聞くの基本的な運用能力、英語使用に対する忌避感の払拭等を考慮して学習する。

【学習目標】
 1. QOL 関連の内容が書かれた文章の概略を、辞書を参照しながら自分の言葉で述べるができる。
 2. QOL 関連の事柄を、辞書参照や他のストラテジーを駆使しながら、英語の基本語順で表現することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	Chapter 7	1.2	講義と演習
2	Chapter 7	1.2	講義と演習、小テスト
3	Chapter 8	1.2	講義と演習、小テスト
4	Chapter 8	1.2	講義と演習、小テスト
5	Chapter 9	1.2	講義と演習、小テスト
6	Chapter 9	1.2	講義と演習、小テスト
7	Chapter 10	1.2	講義と演習、小テスト
8	ここまでのまとめと解説	1.2	講義と演習、小テストのまとめ
9	Chapter 10	1.2	講義と演習
10	Chapter 11	1.2	講義と演習、小テスト
11	Chapter 11	1.2	講義と演習、小テスト
12	Chapter 12	1.2	講義と演習、小テスト
13	Chapter 12	1.2	講義と演習、小テスト
14	Chapter 13	1.2	講義と演習、小テスト
15	全体のまとめと解説	1.2	講義と演習、小テストのまとめ

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	How to Stay Healthy	Julie Penn 他	Oxford University Press	715 円+税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況（授業回数全体の3分の1以上を欠席した者は、受講放棄と見なされる）、授業への参加度、毎回の小テストおよび中間試験と期末試験の結果により、総合的に評価する。ここに共通テストの評点加わる。なお、授業期間中に最低1回は発表を担当してもらうこととしており、この条件を満たさない者は受講意志がないものと見なされる。	【履修上の留意点】 授業は該当範囲を予習済みであることを前提として進める。予習段階で分かりにくかった点を徹底的に質問してもらい、受講者全員にとって不明な箇所がなくなったことを確認してからテキストの内容に入る。したがって、英単語の意味などの質問は受け付けられない代わりに、中学校レベルの文法内容を含めた極めて基本的な質問を大いに歓迎する。基本が身につけていないのに高度なことをしようとした挙げ句に失敗して嫌になるのは、学習も運動も同じである。英語の辞書は紙の辞書を薦めたい。単語の意味調べをするだけならば電子辞書でも構わないが、文法事項を理解するためには、検索なしに解説文が目に入ってくる紙の辞書に軍配が上がる。
--	--